

誰もが芸術文化に触れることができる社会の実現をめざして  
**2026年度 東京芸術文化鑑賞サポート助成**  
申請受付開始 2026年4月22日

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、東京都とともに、誰もが芸術文化に触れることができる社会の実現をめざし、2026年度 東京芸術文化鑑賞サポート助成の申請受付を開始します。今年度からは東京都内区市町村の公立文化施設を運営する事業者の申請について条件を緩和し（詳細はガイドラインを参照）、東京都内で実施される展覧会や公演等における鑑賞サポートの取組をさらに後押しします。

なお、本助成事業は、助成金による支援を東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」による講座受講や相談対応等の支援と連動して実施します。芸術文化事業の実施団体等においては、本事業を通じて、芸術文化へのアクセシビリティに対する理解促進やノウハウ等の蓄積、担い手の育成等が図られることを期待します。

**東京芸術文化鑑賞サポート助成 特設ウェブサイト**  
<https://act-kansho.support/>

#### ■支援内容

鑑賞サポートにかかる費用について、150万円を上限として、実費を支援します（助成率 10/10）。

ここでの鑑賞サポートとは申請者が主催する公演や展覧会の鑑賞体験、イベントやプログラムの参加体験を豊かにするための環境整備のことで、障害や年齢等にかかわらず誰もが芸術文化の鑑賞に参加・申し込みしやすくする、作品、上演等を鑑賞しやすくするためのサポートです。

例えば、手話通訳、バリアフリー日本語字幕、音声認識アプリの活用を含めたりリアルタイム字幕、音声案内、コミュニケーション支援となるアプリ開発等、点字サイン・パンフレット、タブレット等バリアフリー対応機器レンタル、アクセシビリティに関する専門スタッフ・アドバイザーに係る経費等です（詳細は別紙「2026年度東京芸術文化鑑賞サポート助成 助成対象経費の考え方」参照）。

また、介助者（手話通訳者やガイドヘルパー等）が鑑賞・参加するために要した経費や、対象事業における鑑賞サポートにかかわるスタッフの研修なども対象とします。ただし、スロープの設置など恒常的な施設整備に関する購入費用は対象経費となりません。なお、外国人のお客様等への多言語対応、古典芸能の現代語訳や現代語解説対応は、そのみでの申請は対象となりません。他の鑑賞サポートと組み合わせでご申請ください。

## ■助成対象となる事業

---

### (1) 対象となる主催事業の分野

東京都内で実施される以下の分野の公演や展覧会など一般観客に公開され、申請団体が自ら主催する事業。1回の申請で対象期間内の複数の公演・展示等をまとめて申請することが可能です。

音楽・演劇・舞踊・美術・写真・メディア芸術（映像・映画、マンガ、アニメ、ゲームなど）・伝統芸能・芸能・生活文化（茶道、華道、書道など）・特定のジャンルにとらわれない芸術活動（複合）等

### (2) 対象となる事業の実施期間

2026年7月1日以降に開始し、2027年6月30日までに終了する事業

## ■申請団体の資格

---

以下のいずれにも該当していること。

### (1) 日本国内に所在し、申請する事業を自ら主催し、同活動に要する経費を負担する芸術団体、民間団体、実行委員会、劇場・ホール等

※ 国、地方公共団体又は国、地方公共団体が基本金その他これに準じるものを出資している団体は申請者にはなれません。ただし、実行委員会のメンバーであることは可能です。

※ 東京都内の区市町村の公立文化施設を運営する財団法人や民間企業等又は指定管理者の場合は、自ら運営する公立文化施設で実施する事業の主催者・共催者であれば、地方公共団体が基本金その他これに準じるものを出資している団体であっても申請が可能です。

### (2) 東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」が実施するアクセシビリティ講座 2024「鑑賞サポート入門」（動画）を受講した団体等

## ■申請と審査

---

### (1) 申請期間

申請は2026年4月22日より随時受け付けます。詳細はガイドラインをご覧ください。なお、本助成事業は助成金交付決定額の総額が予算の上限に達した時点で募集を終了します。

### (2) 公募ガイドライン

申請にあたり必要事項の詳細は公募ガイドラインをご覧ください。申請書等は、2026年4月22日より、東京芸術文化鑑賞サポート助成特設ウェブサイトからダウンロードできます。

### (3) 申請方法

申請書類はオンラインで提出していただきます。申請を行う団体は、特設ウェブサイトより手続きを行ってください。

### (4) 審査のプロセス

書類審査を経て、専門家を含めた審査会で選定します。なお、審査会は助成金交付決定額の総額が予算の上限に達するまで2か月に1回程度開催する予定です。

## アクセシビリティ講座 2024「鑑賞サポート入門」の受講について

申請にあたっては、東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」のアクセシビリティ講座 2024「鑑賞サポート入門」(※)を申請事業の制作担当(鑑賞サポート担当含む)の方に受講していただく必要があります。(各30分程度、字幕、手話付)

### ①基礎知識編

鑑賞サポート推進の目的・意義、現場からの声「鑑賞サポートを推進する上で大切なこと」事例紹介

### ②視覚障害者編

鑑賞サポートの案内(予約から来場・鑑賞・終了まで)や、サポート・ツール等の紹介

### ③聴覚障害者編

鑑賞サポートの案内(予約から来場・鑑賞・終了まで)や、サポート・ツール、手話等の紹介

※ 特設ウェブサイト内の申請フォームページ、あるいは東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」公式 YouTube チャンネルをご覧ください。

URL : [https://www.youtube.com/playlist?list=PLsTZ2MWC\\_JVJQCIYxLCIFBS5DILrodOdZ](https://www.youtube.com/playlist?list=PLsTZ2MWC_JVJQCIYxLCIFBS5DILrodOdZ)

※ アクセシビリティ講座 2024「鑑賞サポート入門」受講確認シートを必ず提出してください。

### [参考] 東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」

東京都および公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京が運営する東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」では、東京都内で活動するアーティストや芸術団体の活動支援を目的とし、オンラインを中心とした相談窓口、情報提供、講座事業を実施しています。

<https://artnoto.jp/>



アートノト

※ 本助成事業は、誰もが芸術文化に触れることができる社会の実現に向けて、東京文化戦略 2030 の取組「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」の一環として行われています。

#### [参考] クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

芸術文化の力や都立文化施設の資源を活用し、高齢化や共生社会など、東京の社会課題解決への貢献を目指し、高齢者、障害者、外国人、乳幼児等を対象者に「アクセシビリティ向上」と「鑑賞・創作・発表機会の拡大」に取り組むプロジェクト。本プロジェクトでは、都立文化施設の情報アクセシビリティ環境を整備し、障害や年齢等を問わずあらゆる人が文化芸術を鑑賞するとともに、参加・創造するためのプログラムを実施しています。

<https://creativewell.rekibun.or.jp/>



#### アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の環境整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。

#### <本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
活動支援部助成課 支援デザイン係 担当：角南、佐藤  
TEL：03-6256-8433 E-mail：ks-josei@artscouncil-tokyo.jp

#### <申請に関するお問い合わせ>

「東京芸術文化鑑賞サポート助成」事務局（平日 10 時から 18 時まで）  
TEL：03-6869-6609 E-mail：info@act-kansho.support

#### <本リリース、掲載に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
企画部広報課 広報担当：関次、柳生  
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp